

# ロハス de 労務管理

☆ ロハスとは、Lifestyles of Health and Sustainability の略で「健康で、環境を壊さずに維持できるライフスタイル」という意味です。

アクロクエストテクノロジー(株)には、「価値ある人生を、価値ある仲間と、共に切り拓く」という社員理念があります。また、社風や働き方を表すものとして7項目を定めて補足しています。

- ① エンジニアスピリッツ溢れる会社であること
- ② 仕事は楽しい、と全社員が言える会社であること
- ③ 互いに成長し、感動を分かち合う仲間であること
- ④ 世の中を支える仕事へのプライドとやりがいを持つこと
- ⑤ 自分達の能力を信じ、世界一に挑戦すること
- ⑥ 自分達が働きやすい環境を自分達で創ること
- ⑦ 嘘や不誠実を許さない会社であること

上記を踏まえて、前回から引き続き、アクロクエストの「仕組み」をご紹介します。

## 1. AcroNote(アクロノート)・・・15分単位で予定と実績を記入する実用新案取得の万能ノート

AcroNote (アクロノート) とは、アクロクエストが独自に開発したA4サイズのノートで、実用新案も取得しています。もちろん全社員使用していますが、税理士事務所や同業のソフトウェア会社でもファンが増えているそうです。欲しい方は、“アクロノート”で検索してお買い求め下さい。(笑) AcroNoteの特徴は、次の通りです。

### ◎ 予定と実績を15分単位で記入できる

1日の予定は毎朝、始業前にすべてを書き終えます。実績は、1日の終わりに書くとなんか忘れてしまっている時間帯がどうしても出るので、作業の切れ目ごとに記入します。15分単位では、細かすぎると思われがちですが、これまでの経験上、これくらいの時間のほうが無駄な時間を分析しやすいとわかったからです。

### ◎ 上司と膝を突き合わせてのコミュニケーションが図れる

AcroNote を使って、上司の隣に座り、膝を突合せて話をします。さらに、その日の開始時、終了時に、上司が確認の印鑑を押す欄も設けています。こうすることで、文字情報だけではわからない部下の問題点や、思わぬ成長も、上司は顔を見ながら把握できます。

### ◎ Action Item (以下 AI)、Daily チェックリストで抜けをなくす

AcroNote には、AI 欄があり、その日のタスクをすべて抜き出し、そのタスクに優先順位をつけ、AI として、デイリースケジュール欄に書き込んでいきます。終わった AI は横線を引いて消していけば、その日に終わらなかった仕事が目目でわかるようになります。また、デイリーチェックリストもあり、毎日、毎週、毎月といった定期的な AI を記入し、毎日見直すことによって、AI の実行漏れを防ぐものです。このデイリーチェックリストを見さえすれば、その日やるべき定常業務が目目でわかります。それによって抜けなく作業を行うことができます。

### ◎ 毎月末に、振り返りを行い翌月に活かす

裏表紙の内側には、今月の達成内容や上司コメント、本人コメントなど、その月の取り組みを振り返り、まとめる欄があります。これを翌月の成長への糧とします。

## 2. 全社禁煙・・・「喫煙者採用せず」を全社員で話し合って決定

アクロクエストは他社に先駆けて、2001年から「全社禁煙」を実施しています。しかも、同年

4月からは、「喫煙者は採用しない」という方針を立てています。創業当時は、喫煙スペース限定での喫煙を許可していたのですが、非喫煙者から様々な苦情が寄せられたため、MA（全社員会議）で話し合い、オフィス内はもちろん、社員と一緒に外で食事をしているときも禁煙という「全社禁煙」を実施しています。まず、ヘビースモーカーだった社長が、当時保険治療にならなかった禁煙パッチを使って3ヶ月かけて禁煙に成功。それを見て、社員が次々にチャレンジしました。

この禁煙制度も当時様々なメディアで取り上げられ、他社の禁煙担当者から、「全社禁煙へ移行するために一番大切なことは？」とよく聞かれるそうですが、「会社の一番トップに禁煙の意識があるかどうかにかかっています」と答えているそうです。

### 3. メディテーション…1日の終わりは全員瞑想で頭を切り換える

システムエンジニアの仕事はハードです。頭脳とパソコンだけで何億円も稼ぎ出す社員は、アクロクエストにとってまさに財産。この人材が疲れたり消耗したりすることなく、心身を充足するための仕組みが「メディテーション」（瞑想）です。

1日の終わり、午後6時15分から5分間は、チャイムとともにオフィス内の明かりを消し、デスク上のディスプレイも消します。暗闇と沈黙の中で、サンスクリットの歌が流れ、各自の席で、あるいは気に入った場所で、スタイルも自由に瞑想に入ります。

オフィス内の全社員が夕方6時15分になると一斉に動から静へ、そしてまた5分後には、一斉に静から動へと転じる統一感が、無言の連帯感を生み出しています。社員にとっては、連帯感を感じる仕組みにもなっています。

### 4. 就業時間は柔軟に…社員の提案で始業・終業時刻をフレキシブルに変更

アクロクエストでは、始業時刻と終業時刻がよく変更されます。MA（全社員会議）などで、あっさりと変わってしまいます。これまで変更した回数は、数え切れないほど。

変更する理由の1つは、「社員がより働きやすくするため」です。社員の多くが関わっている大きなプロジェクトの進捗状況によっては、始業時刻を早めたり、夕方に「イブニングブレイク」として、休憩をとったりしたほうが都合良いこともあるからです。2つ目の理由は、「社内活性化」です。つまり、同じ時間だと飽きるからです。社内の停滞感を覚えた社員は、季節に関係なく、就業時間の変更を提案します。3つ目の理由は、「実験」。どのようにしたら、一番働きやすいのかを常に考えて実験しています。サマータイム、ウインタータイムも実施したり、しなかったりとその年により変わっています。

## 今日のへるしー！ ★ 女性活躍推進法 ★

世界経済フォーラムによる「男女平等(ジェンダーギャップ)指数ランキング・国別順位」では、日本は、142カ国中、104位。1位はアイスランドで、以下、フィンランド、ノルウェー、スウェーデンと北欧の国が続きます。アジアの中での1位はフィリピンで、世界9位。その他、中国87位、韓国117位。

こんなふうな女性が活躍していないから、8月28日に女性活躍推進法案が国会で成立し、従業員301人以上の企業には、数値目標を作って、それを「見える化」しながら、その達成計画を作って努力しなさいということになったわけです。

女性の活躍への一番の壁は、長時間労働と言われています。日本では、生産性よりも長時間働くことのほうが上司等からの高い評価を得られる傾向があり、管理職を中心に、会社から早く帰宅するという文化がありません。長時間労働を是正し、家事、育児に男性が積極的に参加しない限り、女性の活躍は望めません。

もっとも、女性が活躍する会社は、おしなべて業績があがっているのです。みんなにそれが浸透すると、急速に女性の活躍が進むかもしれません。

発行

〒815-0041

福岡市南区野間 1-11-25-910

OFFICE IWASAKI

社会保険労務士 岩崎厚美

TEL 092-552-8379

FAX 092-405-0301